

2014.6月

# もいのものがたい

夏期号

みどり  
100年後の森林のために

第3号



那珂川町 日吉神社のオガタマの木

福岡県広域森林組合発行 広報誌

**JForest** ふくおか



# 合併して1年が経過しました

昨年、4月1日に11森林組合が広域合併し、「福岡県広域森林組合」が発足して1年が経過しました。

この間、順風満帆とは決して言えず、多くの難問や課題が数多く横たわっておりまして。これらの諸課題につきましましては、役員一体となって努力してまいりました。ここに1年間の経過と26年度の各支店等の重要な業務の推進計画についてご報告いたします。

## 本店 参事 坂田俊夫

平成25年度第2期の本店（糟屋支店）の事業報告をさせていただきます。

糟屋支店は旧宇美町森林組合外4組合から業務の引き継ぎを受け、事業の推進に当たりました。

主な事業では、篠栗町有林の主伐と萩尾生産森林組合の利用間伐を11ha実施し、素材材積で2,200m<sup>3</sup>の取扱をしました。材価が高騰したことにより、計画以上の木材代金の支払い精算ができました。

また、篠栗町学校木質化のテスト施行として、篠栗北中に町有林

その内、ストックヤードに搬入した材を原田加工場等への協定販売で、1,972m<sup>3</sup>を取扱いました。

また、福岡南支店管内の関係者のご理解とご協力をいただき、荒廃森林再生事業を始め、森林整備及び利用事業に取り組みました。荒廃森林調査491ha・荒廃林間伐等89haを実施、利用事業では市道河川等の草刈等、様々な事業を受注することができました。

なお、那珂川加工場では、賃挽き業務を実施して所有者の方々に喜んで頂いております。

合併して1年を迎える4月1日の人事異動で、築地支店長・片江係長の2名が福岡西支店へ異動となりました。福岡西支店から柴戸係長が福岡南支店に、福岡主事が筑紫野支所に着任し、福岡南支店は職員10名、筑紫野支所は職員2名に臨時職員1名での3名、合計13名体制で平成26年度事業に取り組んで参ります。

特に森林委託契約を締結した団地の搬出間伐を重点に事業推進に当たります。



那珂川町のストックヤード

の丸太を製材し納品しました。森林整備部門では、荒廃森林再生事業72ha、保安林改良事業36haほか除草、伐開等の事業を実施しました。

25年度に導入した林業機械（ダブル付バックホウ・フォワーダ）については、管内関係市町のご理解により補助金の上乗せを頂き、久山町の荒廃森林再生事業及び篠栗町の利用間伐現場で活躍しました。

平成26年度は、木材の利用促進を図り、利用間伐及び主伐の推進を積極的に行い、森林所有者の収益向上に努めます。

今年度から、

本格的に始まります篠栗町学校木質化の床・壁材を始めとし、篠栗町有林・萩尾生産森林組合・久山町の下山田財産区等で、主伐利用間伐の計画を予定



篠栗町学校木質化工事

## 福岡北支店 支店長 松田隆春

当支店は宮若市に支店を置き、宗像市と岡垣町に支所を配置し事業を行っています。

平成25年度事業については、県農林事務所、市町村、組合員の皆様との緊密な連携を取りながら事業の拡大を図ってきました。

林産部門では利用間伐面積約52ha素材生産量約3,800m<sup>3</sup>と計画を上回りました。

搬出間伐を行うため、森林作業道（幅員2.5m 延長約8,000m）と森林林業加速化事業の林業専用道（幅員3.5m 延長1,120m）を建設しております。また、森林整備部門については荒廃森林再生事業（6市町村と契約）・保安林緊急改良事業・県営林保育事業外等で約400haの森林整備を行いました。

被害の拡大が深刻化している、松くい虫防除・駆除事業についても力を入れて取り組んで参りました。

26年度事業については、「森林・林業再生プラン」等の施策に歩調を合わせた森林経営計画の作成・施業の集約化・路網の整備、荒廃森林再生事業の着実な実施に努めます。

森林整備部門では、引き続き市町発注の荒廃森林再生事業を始めとし、保安林改良事業及び利用事業の受注を積極的に行いますので、よろしくお願いいたします。

## 福岡西支店 支店長 築地山治

25年度につきましては、主要部門のみ事業報告をいたします。

販売部門につきましては、受託林産事業取扱計画を3,400m<sup>3</sup>としておりましたが、42ha・3,800m<sup>3</sup>の取扱の実績で終了いたしました。

昨年10月から1月にかけての材価の高騰の影響で、よい事業実績を上げることができ、森林所有者にも多くの精算金の支払いができました。

加工部門につきましては、事業計画90,440千円の売上げに対し70,000千円と77%の実績にとどまっております。26年4月より本店の直轄事業に移行し検討委員会での運営の方向づけが現在検討されているところです。

森林整備部門については、森林整備事業が計画より多少減少したものの計画に近い実績を上げることでできておりますが、利用事業

林産事業においては高性能林業機械の導入計画により、林業機械オペレーター養成等に取組み、森林所有者の所得向上につなげて行きたいと思っております。

今後とも本店、各支店、支所とも連携を密に事業展開を図って参りますのでご協力よろしくお願い申し上げます。



工事中の林業専用道

## 嘉飯山支店 支店長 横山陽一

当支店の平成25年度事業としましては、組合員の皆様の理解をいただきながら、収入間伐・保育施業等を中心に利用事業も含めて事業展開を図ってきました。昨年度の事業実績としては、森林整備部門では荒廃森林再生事業・治山事業・県営林事業・造林補助事業・その他の市町村森林保全事業等で約530haの森林整備を行い、林産部門は素材生産量約5,400m<sup>3</sup>の実績、路網整備部門では加速

については、計画の70%の実績にとどまっております。

26年度の事業目標といたしまして、県農林事務所・福岡市・糸島市・組合員皆様と連携をさらに深め、経営計画の樹立・林業機械の新規導入等を行い、直営作業班の強化並びに請負作業班の新規発掘を行い、販売部門での取扱量の増加を図るとともに、森林整備事業、利用事業での事業展開の再度見直しを行い支店全体の取扱を拡大すると共に、組合員の皆様より信頼される事業を行ってまいります。



海岸防風柵工

## 福岡南支店 支店長 石橋義朗

福岡南支店では、組合員の皆様を始め関係各位のご協力により、9団地493haの森林経営計画を樹立しました。平成25年度実績では利用間伐84haを実施して5,498m<sup>3</sup>の木材生産をすることができました。

化林業専用道1,120m、作業道18,000mを建設しております。

また昨年度は、加速化事業で高性能林業用機械（プロセッサ+ザウルス）1台の導入したほかにクレーン付8トラック1台を購入して作業の効率化を図りました。

今年度も引き続き、作業の効率化や人材育成など行い、国産材の安定供給体制の確立を目指し、組合員・森林所有者の皆様の森林経営のお手伝いに力を入れて参ります。

また、4月1日の人事異動で事業課職員2名、現業職員3名が本店・北支店・西支店に転出いたしました。また、現業職員1名の転入と再雇用職員1名に新たに直営職員1名を加えた陣容となりました。今後とも本店・各支店とも連携を取り合いながら、より一層の事業展開を図って参りますのでよろしくお願い申し上げます。



高性能林業機械



# 主伐をしませんか

私たちの森林組合管内には、約7万haの森林があり、うち4万haがスギ・ヒノキを中心とする人工林です。どこの市・町に行っても立派な森林となっています。

この人工林は、戦後の荒廃した国土の復旧と木材不足を解決する施策として、積極的に造林事業が推進され、先輩組合員の努力により成し遂げられたものです。

しかしながら、植栽から伐採までの期間が他の産業に比べ長い期間を要するために、この間に経済状況、外国産木材の輸入や住宅建築様式の変化等により国産材の需要が大きく変化してきました。このため、木材価格は長期的に低迷し再造林の費用が出せないような厳しい状況になりつつあります。

また、植栽木を食害する鹿の増加による根本的な被害対策が見いだせない等の理由により50年生以上の主伐適齢期を過ぎても伐採されない林分が大半を占める状況になっていきます。

一時は、「山を売って子供を大学に行かせる学費にする」とか、「結婚費用にする」とかの話をよく聞きました。最近主伐された山を見かけることが少なくなりました。森林は再生産できる産業だとして

## 事業紹介

### 主伐による原木生産を支援します

主伐で元気にプロジェクト協議会  
福岡県 農林水産部 林業振興課

### 趣 旨

主伐の推進は、伐採、植林、保育といった健全な森林のサイクルが始まり、林業事業体の経営が安定します。雇用の創出等にも繋がり山村地域が活性化します。安定的な木材供給により、製材業の経営安定にも寄与します。苗木生産等の関連産業が活性化します。また、林業が営まれることにより、森林の持つ公益的機能が発揮されることから、主伐で元気にプロジェクト協議会と福岡県は主伐を推進しています。

### 助成対象者

- ・森林所有者  
(森林所有者から委任を受けて助成金の交付申請を行う者を含む)
- ・森林所有者との契約に基づき主伐を行う事業者  
(県内に事業所を置く林業事業体に限る)

### 対象樹種

スギ、ヒノキ

### 採択要件

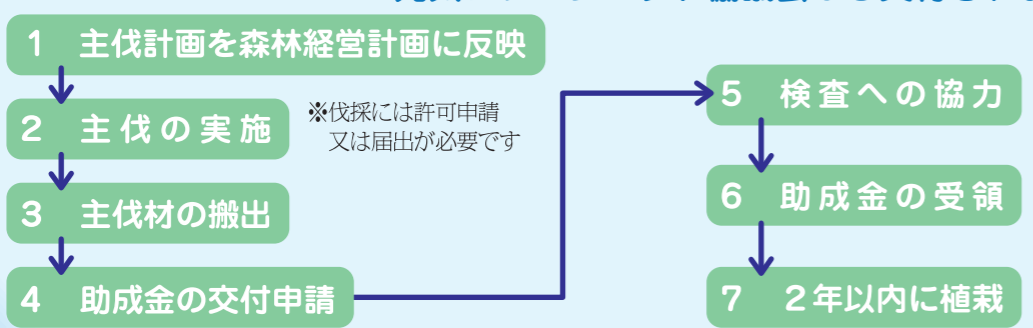
- ・森林経営計画に基づく主伐であること
- ・主伐材は、福岡県森林組合連合会浮羽事業所、八女地域木材共販森林組合連合会、豊築森林組合木材流通センター、又は県内の製材工場に出荷すること
- ・主伐が完了した日の翌年度の初日から起算して2年以内に、スギ・ヒノキ等の用材として利用できる樹種を植栽すること

### 助成金額

原木市場等へ出荷した主伐材の材積1㎡当たり800円

### 手 続 き

～ 助成金は主伐で元気にプロジェクト協議会から交付されます ～



・森林組合で対応します

### 主伐で元気にプロジェクト推進協議会とは

県内製材工場の原木需要に占める県産材シェアの拡大に寄与するため、県産主伐材の流通ルートを確認することを目的として設立された、林業・木材産業関係者で構成された協議会です。

◎助成金及び森林経営計画に関する問い合わせは森林組合本・支店・支所にご相談ください。



糟屋郡篠栗町萩尾の主伐地


く言われますが、このまま推移していけば頭でつちの林齢構成になります。よく日本の人口構成が、逆ピラミッドと言われ高齢化率がどんどん進んでいます。人工林の割合が高齢林分の占める割合が高くなっています。福岡県は主伐が減少していることにより、10年生以下の林分は人工林全体の2.3%程度しかありません。このような林齢構成のアンバランスが続けば、安定した林業生産活動に支障をきたす恐れがあります。

また、下刈や除間伐等の保育作業の仕事が減少し、山村地域の雇用の場が減少していく事が懸念されます。このような状況を踏まえ、昨年、福岡県では「福岡県森林・林業基本計画」を作成し、「継続可能な林業経営の確立と健全な森林づくりの推進」を目標として掲げています。

す。その中で「森林の世代サイクルの回復」を、目指す方向としています。林業経営が成り立つ人工林に施策を集中するとともに、林業経営は間伐中心から主伐中心へ誘導していく事が明確化されています。このように考えますと、主伐を行いつつながら森林の再生産を行っていくことは大切なことだと考えます。一方で、自分では伐採や植林することもできないし、山の管理ができないとお考えの組合員の皆さんがたくさんいらっしゃいます。組合員の皆様が主伐について収入、費用等お知りになりたいことがあれば、最寄りの支店、支所の職員にご相談ください。担当が現地調査や林分状況等について説明いたします。組合では、再生産資源としての森林の活用を促進し、林業を活性化させるために努力しています。組合員の皆様の理解をいただきながら木材生産のコスト削減に努め利用伐期を迎えた人工林の伐採・搬出を推進して行きたいと考えています。平成26年度より福岡県が、主伐に対して助成を行う事業を新しく立ち上げました。詳しい内容については、次ページ「主伐による原木生産を支援します」により紹介します。

**< 獣害防止用ネット資材 >**  
鹿用ステンレス入ネット・オレンジネット・ダイニーマ入ネット(スーパー繊維入) 猪用電気柵・苗木保護用サブリガードなど

**< よりよい造林地を造るための薬剤 >**  
ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤10・クサトール粒剤 ラウンドアップマックスロード等・樹幹注入剤マツガードなど

販売元  **正和商事株式会社**

<本社> 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目3-4 TEL (06)6203-4541  
<九州営業所> 〒802-0002 北九州市小倉北区京町3丁目14-11 TEL (093)511-0115



鹿防止用ネット(篠栗町)



## 福岡県農林業総合試験場 資源活用研究センター便り(2) イノシシの農林産物被害を防ぐには

福岡県のイノシシによる農林産物被害額は約5億円で、鳥獣による被害額の約37%を占めています。このため県では、県内における農林産物の被害軽減、人的被害の未然防止と地域個体群の長期にわたる安定的な維持を図ることを目的として、特定鳥獣(イノシシ)保護管理計画を策定し、狩猟期間の延長、被害防除対策の推進等、総合的な対策を講じています。

### ◆なぜイノシシ被害は増えたのでしょうか

以前は、炭や薪として里山の雑木を積極的に利用していました。しかし、次第に利用しなくなり、最近では耕作放棄地も増加し、イノシシの好む藪などの環境が増えたことに加え、狩猟者の減少によりイノシシの生息数が増えたといわれています。また、里山で活動する人々が減り、イノシシが耕作地に侵入し易くなったことも、被害が増えた原因と考えられています。

### ◆まずイノシシの生態を知りましょう

イノシシは雑食性で、農作物の他、草木の根、木の实、昆虫、ミミズ、カエルなどの小動物などを食べます。昼夜を問わずエサを求めて行

動し、石の下や土の中の食物まで利用します。身体能力は、100kg以上のものを動かせ、20cmの隙間を潜り抜け、120cmの高さを飛び越えられます。交尾期は12月～2月頃、出産は4月～6月頃で、平均4～5頭産みます。春の出産に失敗した場合は秋に出産するようです。野生イノシシの寿命は約10歳です。

### ◆どうしたら被害を防げるのでしょうか

イノシシは警戒心が強く臆病な生き物であり、農地に隣接する山林、耕作放棄地を草刈で隠れ場所をなくし、防護柵(トタン柵・金網柵・電気柵の併用)を設置することは効果的です。防護柵設置の3原則は、

- ① 農作物の味を覚えさせない。
  - ② 農地に生ゴミ、クズ野菜を放置しない
  - ③ 里山、林縁部の果樹園、道路の法面、畦の雑草も除草し、見通しを良くしてイノシシを近づけない
- 耕作放棄地も地域合意のもと、伐採等の管理
- ② 潜り込めるとは思わせない。飛び越せるとは思わせない。
  - ③ 防護柵は、十分な高さ・強度を持ったものを設置
  - ④ 穴や隙間を作らないよう柵の下部、つなぎ目はしっかり固定
  - ⑤ 地面からの潜り込みを防止
  - ⑥ しびれない電気柵は設置しない

## 林業研究会紹介 「篠栗町林業部会」

篠栗町林業部会は、昭和57年1月に篠栗町森林組合の青年部活動の一環として、約30名の部員で構成され発足しました。

現在は、高齢化とともに部員数も著しく減少し、8名の会員で活動しています。

発足当初から森林レクリエーションの機能を保持する憩いの場所萩尾町有林【樹芸の森約10ha】の下刈作業を部会で請負い、整備に取り組んでいます。

このような現状ではありますが、地域の林業振興に繋げる町との事業連携や県内林研グループとの意見交換会、県林研連合会の諸事業



への参加を積極的に展開しながら、会員の林業知識と技術の向上に努めているところです。

町との連携事業として、本年3月3日、萩尾地区町有林(0.2ha)で篠栗小学校萩尾分校の児童を中心に県・町・森づくりの会・林業部会等参加のもと、クヌギ・クリ・ヤマザクラ・コブシ等約300本のポランテア植樹を実施しました。

左の写真はその時の作業風景を掲載しています。

今後とも、私たち会員を含め子供たちを中心に、多くの方々に對し森林の大切さを学んで頂くような事業について、さらに町や福岡県広域森林組合との連携を密にし、展開していきたいと思えます。

- 6千ボルト～8千ボルトは必要
- 草の接触による放電、ショートで電圧低下を防止
- 定期的な点検(見回り)や補修が重要

## 新連載シリーズ 福岡県広域森林組合 管内の峠紹介

私たちの森林組合は、土地面積19万ha(県土面積の38%)に森林が7万haと広い面積に5つの本支店と5つの支所があり、日常業務で移動すれば大・小の峠を必ず越えます。

峠道は、昔から旅人の難所で雨や雪で大変だっただろうと想像できず。

昔から峠道には、名前の付いた言い伝えや地域の風情等がありますので紹介したいと思います。

最初は福岡市と宮若市を結ぶ県道21号線の「犬鳴峠」です。現在は、トンネルと改良工事が完成して、かつては県下有数の険しい峠道は一変して快適なコースとなっております。

犬鳴という地名はこの地にあった旧犬鳴村に由来し、現在は宮若市大字犬鳴となっております。何やら曰くあり気な名前ですが、何故犬鳴と呼ばれるようになったのでしょうか。

江戸時代に書かれた「筑前名所図絵」には次の様な記載があります。「むかしむかし、この地に住んだら、犬を連れて山で猟をしとった。しかし、犬が激しく

【参考資料】福岡県ホームページ、農水産省生産局ホームページ、野生鳥獣被害防止マニュアル(柳エイエイ発行)

鳴き続けるもんで一向に獲物がとれん。怒った猟師はついにこの犬を鉄砲で撃つてしまった。その時、フツと上を見てみると、1丈5、6尺(5m)程はあろうかつちゅう大蛇が姿をあらわした。犬が鳴いて危険を知らせよつたのを誤って撃つたことを猟師は大層後悔した。命からがら逃げのびた。猟師は、その後鉄砲を捨てお坊さんとなりこの山に犬の塔を建てたそうげな。それからこの地を犬鳴という。」

幕末には福岡藩の別館が築かれ、木炭や焼物の生産で発展してきた犬鳴村ですが、犬鳴峠の中腹(宮若市)に完成した犬鳴ダムにより湖底に沈みました。

犬鳴ダムの周回コースには親水公園や犬鳴御別館跡(旧福岡藩城跡)、炭釜跡や司書橋(犬鳴大橋)があり地域の散歩コースとして親しまれています。また、周辺には数多くの野鳥が棲み、福岡や北九州の方から観察をされる方が多くみえる名所となっております。



犬鳴トンネル

## 林業機械の紹介 第2回・フォワーダ

前号から林業現場で活躍している、大型の林業専用機械(総称して高性能林業機械とも呼びます)を紹介していますが、今回はフォワーダを説明します。

間伐の現場では、伐倒した材を前号紹介の「プロセッサ」で3mや4mに採材・玉切りを行い、一定量にまとめて作業道の横側に積み上げておきます。

この材を集材しながらトラック土場まで運び出して、極積みする能力を備えた運搬車を「フォワーダ」と呼びます。

昭和40年代後半から「林内作業車」と呼ばれる木材搬出用の運搬車が開発され、県内各地に普及しました。

林内作業車は、材の引き寄せや積み込みのためにウインチが搭載されるようになりました。機械の改良により作業効率の改善が図られ、作業者の疲労が軽減されるようになりました。

フォワーダは、この林内作業車をさらに大型化するとともに、材の積おろし専用のグラップルを搭載したものです。最も普及しているのは、2～4トン積のゴムクローラ式の機種が多く導入されています。



材搬出中のフォワーダ

す。フォワーダは、全木や全幹集材といった長材の集材には向きませんが、3mや4mの単幹材の丸太については、完全に積載して運ぶので泥等の付着が少なく製材時に発生する鋸刃の損傷を減らせる利点があります。

林内作業車との呼び分けがあまりない部分もあり、2トン程度以上の積載ができるものであればグラップルが装着されていなくてもフォワーダに分類されることもあります。

平成25年度には、西支店でフォワーダを1台、本店では3トン積みみの林内作業車を導入しており、間伐材の搬出に活躍しています。



## 筍生産者紹介



野見山 正光さん

今回紹介する林家さんは宮若市三ヶ畑にお住いの野見山正光さんです。  
野見山さんは地元日吉地区の竹林(約1町5反)で筍を生産しています。

筍は皮付きのまま茹でるのが一番のコツだそうです。3月中旬から4月上旬までは生筍、茹で筍を直売所で販売され、その後一斗缶(18ℓ)に缶詰にされるそうです。缶詰にする2割程は2kg缶詰にして化粧箱に入れて販売されています。

7月中旬から翌年の3月まで真空パックで販売されるそうです。(85度の蒸気で20分から25分間殺菌すると常温でも2ヶ月は保存でき、美味しくいただけるとのことです。)

野見山さんが今、一番力を入れておられるのは、土から掘る筍ではなく、1.5m程伸びた穂先筍をナタ・カマで切り取り収穫して、茹で筍にして販売することだそうです。筍の美味しい食べ方として、酢

味噌またはワサビ醤油で刺身で食べるのが一番だそうです。

一般の家庭でも美味しく食べられる方法として煮付にして食べるのも結構ですが、煮付を天麩羅にして召し上がるのも珍味だそうです。

近年、海外から安価な筍が輸入されるようになり価格は下落、生産者の高齢化により竹林の整備がままならず生産者は減少してしまつたとか。

以前は野見山さんの住む日吉地区も地域ぐるみで筍の生産を行い、全盛期には北九州合馬の生産者も研修に訪れる程盛んだったといいます。

野見山さんは軽トラックで林内を周回出来る様に路網を整備し省力化に努め、少ない人数で林内整備、収穫作業出来る様に工夫しておられますが、近年では害獣による被害も急増しており頭を悩ませているそうです。

今後、地域筍のブランド化を進め以前の活気を取り戻せる様頑張っていきたいと仰っていました。



作業中の野見山さん

## 理事会報告(平成25年度第2期)

### 第5回(平成26年1月22日)

- ◎付議事項  
第1号議案  
平成25年度上期決算について(監査報告)
- 第2号議案  
平成25年度事業修正計画について
- 第3号議案  
理事との契約について
- 第4号議案  
資金の借入枠の設定について
- 第5号議案  
再雇用職員の雇用条件について
- ◎報告事項  
①行事報告及び予定について
- ②その他

### 第6回(平成26年2月20日)

- ◎付議事項  
第1号議案  
原田加工場検討委員会の最終報告について
- 第2号議案  
職員人事について
- ◎報告事項  
①行事報告及び予定について
- ②その他

## 基本理念

福岡県を地域森林組合は、組合員とともに森林の心を守り林業の活性化、地域振興を目指すために次の基本理念を掲げます。

- 一、森林の恵みに感謝し、豊かな森林を未来に引継ぎます。
- 一、活気に満ちた人づくりで、林業と地域の活性化に努めます。
- 一、組合員の信頼にこたえ、組合員に貢献できる組合を目指します。

### 第7回(平成26年3月25日)

- ◎付議事項  
第1号議案  
原田加工場の件について
- 第2号議案  
職員の人事異動について
- 第3号議案  
固定資産の処分について
- 第4号議案  
諸規定の改正について
- 第5号議案  
中核組合認定申請について
- ◎報告事項  
①行事報告及び予定について
- ②その他

## ヨロシロ

今回、シカ肉を使った料理を紹介いたします。

紹介をいただきましたのは、当組合の理事を務められている加納恵子さんです。

シカ肉は、高タンパクで低脂肪という特徴があります。また、鉄分も多く含んでいるため病気の予防につながる食品としても注目されています。

シカ肉については、ヨーロッパでジビエと呼ばれ一般に食されています。

日本でも獣被害対策として、各地域でシカ肉等の処理加工施設が出来、道の駅や特産品販売所で販売されています。

### 《材料》

- シカ肉……………300g
- オリーブオイル…大さじ2～3杯
- 赤ワイン……………適量
- ニンニク……………4～5片
- ショウガ……………適量
- 砂糖……………大さじ2～3杯
- ニンニク醤油……大さじ2～3杯

## 作り方

- 1 シカ肉を食べやすい大きさ(3cm角)に切る。
- 2 フライパンにオリーブオイル、ニンニクを入れ、香りをうつす。このとき、温度を上げすぎないように注意する。
- 3 オイルに香りがうつったら、シカ肉・ショウガを入れ強火でこんがり色がつくまで炒める。色がついたら、赤ワインをシカ肉がたっぷりつかる程度入れ強火で8分くらい煮る。このあと、アクが出るので丁寧にとる。
- 4 弱火で20分くらいコトコト煮る。
- 5 赤ワインの量が最初の半分くらいになったら、ニンニク醤油(なければ普通の醤油)・砂糖を入れて味を調える。
- 6 器に盛り、ショウガをのせて出来上がり。



## まつり紹介

## 嘉麻市「一夜城まつり」

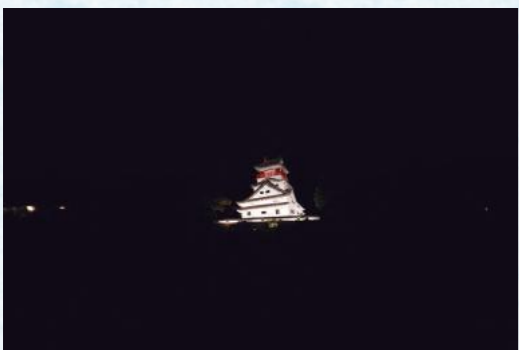
今、県内はどこに行っても「黒田官兵衛」一色の感があります。いつ官兵衛が九州に来るのだろうかと首を長くして待っているファンが多いと思います。

黒田官兵衛ゆかりの地として嘉麻市に城山と呼ばれている旧益富城跡があります。嘉飯山支店では、時々市の仕事で雑木等の伐採業務を行っています。嘉麻市観光課が行っている一夜城まつりについて紹介します。

天正15年太閤秀吉の九州平定作戦の最初の戦となりました。田川の岩石城攻めの次の作戦が秋月氏の籠る甘木の古処山城でした。城山に陣を敷く秀吉軍得意の短期工事で城を一夜で築いて、秋月方の戦意をそぐことを目的に作られたお城です。

以下に一夜城の歴史を紹介いたします。一夜城は正式には益富城といい、慶長六年(1601年)関ヶ原の戦い後、筑前一国を与えられた黒田長政が築城した六つの端城の一つです。初代城主は黒田二十四騎の一人でもある後藤又兵衛で、無駄を省いた堅実な城づくりが行ったようです。又兵衛の後に、母里太兵衛が入

城しました。母里太兵衛は幼少より黒田官兵衛と息子の長政に仕えた武将で、常に秀吉が家臣にしたいと官兵衛に頼んだとも伝えられるほどの槍の名手でした。益富城は、慶長二十年徳川から出された一國一城の令により黒田家自ら建物や石垣を破壊して廃城としました。今日まで城郭の基礎部分、石垣が残っています。現在は、10月下旬頃一夜城まつりが開催され、秋の澄きつた夜空にライトアップされた天守閣は、一見の価値があります。又、このお城は、嘉飯山支店の正面にありますので、夕方家路に向かう職員に一服の清涼感を与えてくれます。



夜空に浮かび上がる一夜城



# 職員紹介

このコーナーでは、各地で日々業務に励んでいる職員をご紹介します。

## 《記載内容》

- ①氏名 ②所属・役職
- ③担当 ④趣味
- ⑤コメント・座右の銘等



- うちだ まもる
- ①内田 守
- ②本店 事業課 森林整備係長
- ③森林整備他
- ④磯釣り

・おすすめの釣りスポット  
平戸宮ノ浦  
6月以降は夜釣りがおすすめです。  
⑤好きな言葉  
「実るほど頭を垂れる稲穂かな」



- ひくち けい
- ①樋口 圭
- ②福岡南支店 事業課 森林整備係長
- ③森林整備他
- ④読書

⑤好きな言葉  
「実るほど頭を垂れる稲穂かな」  
昨年度より森林経営計画を策定しています。南支店は管内すべての森林の計画認定を目指しております。皆様のご理解・ご協力をお願いします。



- おつか たかし
- ①尾塚 卓司
- ②福岡北支店 事業課 森林整備主任技師
- ③森林整備
- ④熱気球、卓球

・おすすめのお店  
コスモス広場（生産者直売所）  
⑤日本の美しい山々を後世へ残せるように頑張ります！



- よどかわ たかゆき
- ①淀川 堯之
- ②福岡西支店 現業職員
- ③林産
- ④映画・体を動かす事

・おすすめの映画  
歴史映画（戦国時代）  
⑤好きな言葉  
「成せば成る、成さねばならぬ何事も」



- のみやま ひさえ
- ①野見山 久恵
- ②嘉飯山支店 総務課 総務係主事
- ③経理
- ④ドライブ・観光

・おすすめスポット/杖立温泉  
⑤好きな言葉  
「なんくるないさ」…沖縄方言  
いつでも前向きに物事に取り組むように心がけています。

## 竹林オーナー制度

オーナー制度は一定期間、竹林所有者と一般の方が契約を結び、竹林の管理からタケノコ収穫までの作業を楽しめる取り組みです。管内では、古賀市と糸島市の2ヶ所で行っています。事務局は森林組合ですので、興味のある方はご連絡ください。

|       | 古賀市                | 糸島市                  |
|-------|--------------------|----------------------|
| 場所    | 古賀市谷山              | 糸島市東                 |
| 総区画数  | 14                 | 32                   |
| 面積    | 約80㎡/区画            | 約250㎡/区画             |
| 年間利用料 | 5,000円/区画          | 10,000円/区画           |
| 契約期間  | 1年間                | 5年間                  |
| 問合せ先  | 本店<br>092-410-1237 | 糸島支所<br>092-325-3258 |

## オリーブ教室

宗像市は昨年度、宗像市離島振興事業の一環としてオリーブの植樹を開始しました。今年度は、「オリーブ教室」として一般市民を募集し、6月から12月までに栽培体験、講座、管理作業等、市民の協働を目的とした事業を展開します。さらに今年度も100本程度のオ

リーブの苗木を植樹し、オリーブ畑・オリーブ事業の拡大を図ります。森林組合は宗像市と一丸となり、この事業の成功に貢献したいと思っております。

平成26年2月15日、16日の両日に宗像市の事業として「椎茸駒打ち体験事業」を開催しました。極寒の中での作業にも関わらず、たくさんの方が参加し、1年後には自分で作った椎茸を食することを夢見て、駒打ち作業に夢中に取り組みました。作業に参加した80%の人がアンケートに「楽しかった。参加して良かった。また、参加したい」との回答を寄せています。委託を受けた森林組合としても満足できる事業でありました。

(宗像支所)



## 大島駒打ち体験事業

## 機械展示会を開催しました

4月11日(金)、12日(土)の2日間、嘉飯山支店では機械展示会を開催しました。展示会には多くのお客様にご来場いただきありがとうございました。

嘉飯山支店の展示会では、商品の販売だけでなく機械センターにて、刈払機やチェーンソーの無料点検をおこなっています。まだ、展示会にきたことのないお客様も次回開催の際はお気軽におこしください。皆様のご来場をおまちしております。(嘉飯山支店)



## 植樹に参加しました

### 松原ネット花見10周年記念植樹

2月22日(土)に古賀市久保花見海岸保安林内で、花見校区コミュニティ「松原ネット花見」創立10周年の記念として、50本の松の植樹を行い、30名が参加しました。

この地域では日頃から、松原ネット花見「がんばる隊」の方々が、松葉かきのボランティアを行っています。(本店)



### 篠栗町有林を活用とした植栽事業

篠栗小学校萩尾分校の児童8名が森林環境教育の一環として、3月3日(月)に篠栗町大字萩尾地区篠栗町有林の一部約0.2haで、植栽を行いました。事前に森林の働きや森林づくりについての学習をし、植栽樹種及び配置を自分たちで考えました。当日は、篠栗町林業部会にも手伝ってもらい、16種類286本の苗木を植栽しました。また、森林組合職員による伐倒作業も見学しました。(本店)



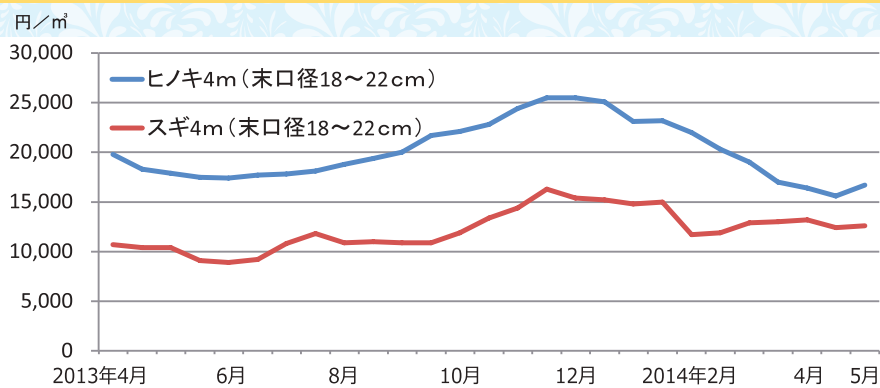
## 平成26年度人事異動

(旧職名)

- 【本店】
  - 総務課長 鍵山 利恵 (本店総務課総務係長)
  - 事業課長兼原田加工工場担当 菊次 憲二 (本店事業課長)
  - 総務課総務係 福井 淳平 (北支店宗像支所技師)
  - 事業課森林整備係長 内田 守 (北支店事業課森林整備係長)
  - 【福岡西支店】
    - 支店長兼総務課長 築地 山治 (南支店支店長)
    - 総務課総務係長 藤田貴代香 (西支店糸島支所主事)
    - 事業課林産係長 片江 文雄 (南支店事業課林産係長)
    - 事業課森林整備係長 松村 角朗 (本店事業課森林整備第2係長)
    - 糸島支所長 山口 美恵 (西支店総務課長)
    - 【福岡南支店】
      - 支店長兼総務課長 石橋 義朗 (南支店総務課長)
      - 事業課林産係長 柴戸 慶介 (西支店事業課森林整備係長)
      - 筑紫野支所主事 松岡 裕美 (西支店原田加工工場主事)
      - 【福岡北支店】
        - 支店長兼総務課長 松田 隆春 (北支店事業課長)
        - 事業課長 猪又 好浩 (北支店岡垣支所長)
  - 【新規現業職員】
    - 本店 鮎川 義臣
    - 吉村 茂
    - 福岡北支店 伊藤 里美
    - 嘉飯山支店 阿比留貴博
    - 永田 祐介
    - 【退職者】
      - 本店総務課長 中園 茂隆
      - 福岡北支店 永末 昭雄
      - 福岡西支店 関 秀次
      - 福岡西支店原田加工工場 松山 英二
      - 現業職員 平川 伸子
      - 新原 茂文
      - 栗木 康隆
  - 事業課林産主任技師 坂本 省三 (西支店事業課森林整備係技師)
  - 事業課森林整備係技師 成清 良輔 (嘉飯山支店事業課林産係技師)
  - 岡垣支所長 上野 紀昭 (北支店事業課林産係技師)
  - 宗像支所森林整備係長 永末 敬典 (嘉飯山支店事業課林産係長)
  - 【嘉飯山支店】
    - 支店長兼総務課長 横山 陽一 (嘉飯山支店支店長)
    - 森林計画課長 堀江 信 (嘉飯山支店総務課長)



## スギ・ヒノキ木材価格の推移（福岡県森林組合連合会 浮羽事業所市況より）



平成26年4月1日の増税前の駆け込み需要により、12月までスギ・ヒノキ共に価格が高騰しました。  
26年に入り、徐々に価格が下がりがり、4月にはスギは前年同月よりは高いが、ヒノキは前年度よりも価格が低くなりました。

## 市況の動向

## 表紙の説明

### 県指定天然記念物 筑紫郡那珂川町市ノ瀬 日吉神社のオガタマの木

那珂川町は、福岡県の西部にあって福岡市の中心部から13 kmのところの位置し、福岡市、春日市等に接し、南部は佐賀県境の脊振連山を源にする那珂川が町の中央を南北に貫流し博多湾に注いでいます。

表紙のオガタマの木は「日吉神社」の境内にあり日吉神社の神木にもなっています。樹高は27m、胸高周囲は3.8mあります。オガタマの木は神前に供える栄木（さかき）の一種であり、招霊（おきたま）の転訛したもので、神前に供えて神霊を招く意に由来するといえます。

昭和38年に県指定天然記念物に指定されています。

日吉神社の隣接地には自然にできた中洲をそのまま活かした中ノ島公園があり、夏から秋にかけて水遊びや紅葉狩りなど多くの人にぎわいます。



|          |  |
|----------|--|
| 本店（糟屋支店） | 福岡県糟屋郡篠栗町篠栗 4923-4<br>TEL：092-410-1237 / FAX：092-410-1238          |
|          | 原田加工場<br>福岡県福岡市早良区西 103<br>TEL：092-804-2520 / FAX：092-804-2869     |
| 福岡西支店    | 福岡県福岡市西区金武 2127-2<br>TEL：092-811-1805 / FAX：092-811-5595           |
|          | 糸島支所<br>福岡県糸島市二丈深江 1360<br>TEL：092-325-3258 / FAX：092-325-3247     |
| 福岡南支店    | 福岡県筑紫郡那珂川町埋金 835-2<br>TEL：092-952-2022 / FAX：092-952-2105          |
|          | 筑紫野支所<br>福岡県筑紫野市二日市西 2-14-1<br>TEL：092-922-2555 / FAX：092-929-4082 |
| 福岡北支店    | 福岡県宮若市福丸 252-2<br>TEL：0949-52-2211 / FAX：0949-52-2212              |
|          | 宗像支所<br>福岡県宗像市東郷 1-1-1<br>TEL：0940-37-5035 / FAX：0940-37-5035      |
|          | 岡垣支所<br>福岡県遠賀郡岡垣町野間 1-1-1<br>TEL：093-701-4100 / FAX：093-701-4100   |
| 嘉飯山支店    | 福岡県嘉麻市大隈町 1766-4<br>TEL：0948-57-0235 / FAX：0948-57-4047            |
|          | 飯塚支所<br>福岡県飯塚市長尾 1250-3<br>TEL：0948-72-0204 / FAX：0948-72-3060     |



## ～農林作業とアウトドアに 携帯防虫器と森林香～

合資会社：草野薬局

〒877-0005  
大分県日田市豆田町 12-1  
TEL 0973-22-3212

### <本支店支所にて販売中>

パワー森林香 1,340 円 (税込)  
携帯防虫器 1,000 円 (税込)